

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム A		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラム A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック (WEB アプリ)			出版社	FCE エデュケーション

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。				
到達目標	・7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。				
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	未来デザインプログラム B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	渡村 麻里			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	夢のスケッチブックアプリの使い方を学ぶ SANKO ワークコンピテンスの理解を深める
2	7つの習慣とは？	7つの習慣とは何か学ぶ 夢のスケッチブックを使って日誌を書くことの意味を学ぶ
3	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの意味について学ぶ
4	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解する 自分自身との約束を守る大切さを学ぶ
5	刺激と反応	「刺激と反応」の考え方を理解する 主体的に判断・行動していくことの大切さを学ぶ

6	言霊 ～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
7	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にすることの大切さを学ぶ
8	選んだ道と選ばなかった道	自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
9	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する
10	人生のビジョン	入学時に考えた「卒業後の姿」をより具体的に考え、イメージする
11	大切なこととは？	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」には、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接的に必要なこともあることを学ぶ
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ 自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
13	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
14	私的成功の振り返り	前期授業内容（私的成功）の振り返りを行う
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム B		
必修選択	必修	(学則表記)	未来デザインプログラム B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	15
使用教材	7つの習慣Jテキスト 夢のスケッチブック (WEB アプリ)			出版社	FCE エデュケーション

科目の基礎情報②

授業のねらい	7つの習慣を体系的に学ぶことを通じ、三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」のうち「心」の部分をも身につける。		
到達目標	・7つの習慣について、自身の言葉で説明することができる。 ・7つの習慣を自らの生活と紐づけ、前向きな学習態度として体現することができる。		
評価基準	テスト：20% 授業態度：40% 提出物：40%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	未来デザインプログラム A		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	渡村 麻里	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
2	Win-Win を考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
3	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
4	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、「理解してから理解される」という考え方があるということを学ぶ
5	相乗効果を発揮する	人と違いがあることに価値があることを学ぶ

6	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
7	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続であり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ
8	人生ビジョンを見直そう	将来のなりたい姿を描き、同時にその生活の実現にはお金が必要であることを学ぶ 現実的なライフプランの大切さを理解する
9	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高める
10	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
11	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
12	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する
13	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラムで学んだことを復習（知識確認）する
14	2年生に向けて①	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える
15	2年生に向けて②	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	観光総合知識 A		
必修選択	必修	(学則表記)	観光総合知識 A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	北海道観光ハンドブック			出版社	(一社)北海道商工会議所連合会
科目の基礎情報②					
授業のねらい	北海道の観光を理解する。観光客を親切にもてなすことができる。				
到達目標	北海道観光マスター検定合格				
評価基準	授業態度 50％ テスト 4 回 50％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	北海道観光マスター検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	濱中 淳子			実務経験	○
実務内容	旅行会社にて添乗員として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	基礎知識・北海道観光マスター検定とは
2	観光地①	観光地（道央圏）
3	観光地②	観光地（道北圏）
4	見学	大通り公園などの観光資源
5	観光地③	観光地（道南圏）
6	観光地④	観光地（オホーツク圏）

7	観光地⑤	観光地（釧路・根室圏）
8	見学	北海道さっぽろ観光案内所
9	観光地⑥ テスト	観光地（十勝圏） テスト 1 回目
10	知識①	北海道の遺産・歴史
11	実践・企画	HAC「若者の翼」応募
12	知識②	北海道の祭り
13	知識③	北海道の自然
14	知識④ テスト	北海道の交通網と交通機関 テスト 2 回目
15	発表・討論会	夏休みの体験発表

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	観光総合知識 B		
必修選択	必修	(学則表記)	観光総合知識 B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	北海道観光ハンドブック			出版社	(一社)北海道商工会議所連合会

科目の基礎情報②

授業のねらい	北海道の観光を理解する。観光客を親切にもてなすことができる。				
到達目標	北海道観光マスター検定合格				
評価基準	授業態度 50% テスト 4 回 50%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	北海道観光マスター検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	濱中 淳子			実務経験	○
実務内容	旅行会社にて添乗員として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	見学	オータムフェスト
2	検定対策	北海道観光マスター検定対策
3	検定対策	北海道観光マスター検定対策
4	検定対策	北海道観光マスター検定対策
5	検定対策	北海道観光マスター検定対策
6	検定対策	北海道観光マスター検定対策

7	検定対策 テスト	北海道観光マスター検定対策 テスト 3 回目
8	発表・討論会	北海道の観光をみんなで考える
9	見学	狸小路
10	発表・討議	狸小路の活性化（討議・発表）
11	講義・討議	観光でまちおこし
12	知識⑤	観光の実践
13	知識・討議⑥	観光の実践
14	見学	さっぽろ雪まつり
15	総まとめ テスト 4 回目	おもてなしの心とは テスト 4 回目

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	マナープロトコール A		
必修選択	必修	(学則表記)	マナープロトコール A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	マナー・プロトコールの基礎知識 マナー・プロトコール検定 2 級・3 級問題集			出版社	日本マナー・プロトコール協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	観光業界で働く上で必要なマナーやプロトコールを習得する		
到達目標	マナー・プロトコール検定 3 級合格		
評価基準	テスト 50% 小テスト 30% 授業態度 20%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	マナー・プロトコール検定 3 級		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	黒田 留己乃	実務経験	○
実務内容	病院の受付業務・航空会社で空港カウンターにて接客業務に従事		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、ねらいと到達目標について、マナー・プロトコール検定の概要、マナーとは
2	マナーの歴史と意味	各国のマナーの成りたちと特徴
3	好感度を高めるポイント	第一印象、挨拶、表情・笑顔、立ち居振る舞い
4	言葉遣いと話し方	言葉遣い、聴き方・話し方のポイント
5	自己紹介	歩き方、姿勢、自己紹介
6	プロトコール①	プロトコールの原則、異文化を知る

7	プロトコール②	席次、国旗
8	手紙のマナー	手紙のマナー、手紙を書いてみよう
9	ビジネスマナー	会社とは、社会人意識、名刺交換
10	電話対応とクレーム対応	電話対応、トラブル対応
11	来客対応①	来客対応
12	来客対応②	茶菓接待
13	ビジネス文書	各ビジネス文書のマナー
14	前期テスト/喜ばれる贈答	テスト実施、贈り物のマナー
15	まとめと総括	テスト問題解説、質疑応答、前期総復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	マナープロトコールB		
必修選択	必修	(学則表記)	マナープロトコールB		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	マナー・プロトコールの基礎知識 マナー・プロトコール検定2級・3級問題集			出版社	日本マナー・プロトコール協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	観光業界で働く上で必要なマナーやプロトコールを習得する				
到達目標	マナー・プロトコール検定3級合格				
評価基準	テスト 50% 提出物 30% 授業態度 20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	マナー・プロトコール検定3級				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	黒田 留己乃			実務経験	○
実務内容	病院の受付業務・航空会社で空港カウンターにて接客業務に従事				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	和食のマナー	食事作法の基本、和食のマナー、和室の作法
2	洋食のテーブルマナー	西洋料理のマナー、各国のマナー
3	「冠」のしきたり	冠婚葬祭とは、日本の主な通過儀礼
4	「婚」のしきたり	結婚の変遷とマナー、礼装の基準
5	「葬」のしきたり	葬送儀礼のしきたりとマナー
6	「祭」のしきたり	日本の年中行事

7	模擬試験①	模擬試験実施
8	模擬試験②	模擬試験実施
9	模擬試験③	模擬試験実施
10	模擬試験④	模擬試験実施
11	模擬試験⑤	模擬試験実施
12	模擬試験⑥	模擬試験実施
13	模擬試験⑦	模擬試験実施
14	後期テスト	テスト実施
15	まとめと総括	テスト問題解説、質疑応答、検定直前総復習

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	コミュニケーション演習 A		
必修選択	必修	(学則表記)	コミュニケーション演習 A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	コミュニケーション技法			出版社	ウィネット
科目の基礎情報②					
授業のねらい	人前での話し方や良好な人間関係の作り方(コミュニケーション能力)を学ぶ。				
到達目標	人前で落ち着いて自分の考えが話せる。人の話をよく聞き発言できる。				
評価基準	制作物：30％ 発表(やる気・声の大きさ)：30％ 授業態度：20％ 協調性：20％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者。 ・ 成績評価が 2 以上の者。				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡本 雄矢			実務経験	○
実務内容	札幌吉本にてコメディアンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、目標。発声練習・自己紹介
2	人前で話す事に慣れる	発声練習・自己紹介・ジェスチャーゲーム
3	人前で話す事に慣れる	発声練習・自己紹介・教科書記入
4	人前で話す事に慣れる	発声練習・自己紹介・教科書撮影・敬語の基本
5	人前で話す事に慣れる	発声練習・自己紹介・教科書プレビュー、振り返り
6	人前での話し方を意識する	発声練習・夢と動機発表、教科書

7	人前での話し方を意識する	発声練習・GW の出来事制作発表・ジェスチャーゲーム
8	人前での話し方を意識する	発表練習強化・1 ヶ月経って制作発表
9	人前での話し方を意識する	発声練習強化・決まった時間で自己紹介作成発表
10	腹式呼吸と活舌のレベルアップ	発声練習強化・決まった時間で自己紹介暗記発表
11	腹式呼吸と活舌のレベルアップ	発声練習強化・目的地までの道案内・面接の話
12	人前で暗記して話す	発声練習強化・教科書、個人で記入グループで答え合わせ発表
13	誰にでも分かる話し方をする	発表練習・教科書記入・全員参加でゲーム
14	挨拶の効用	発声練習・挨拶、マナー、エチケットについてを話し合い発表
15	挨拶の言葉遣い	発声練習・教科書記入、答え合わせ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	コミュニケーション演習 B		
必修選択	必修	(学則表記)	コミュニケーション演習 B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	コミュニケーション技法		出版社	ウィネット	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	人前での話し方や良好な人間関係の作り方(コミュニケーション能力)を学ぶ。				
到達目標	人前で落ち着いて自分の考えが話せる。人の話をよく聞き発言できる。				
評価基準	制作物：30% 発表(やる気・声の大きさ)：30% 授業態度：20% 協調性：20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者。 ・成績評価が 2 以上の者。				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	岡本 雄矢		実務経験	○	
実務内容	札幌吉本にてコメディアンとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	効果的に話す	発声練習・5 W2H を制作発表
2	効果的に話す	発声練習・話にナンバーリング作成発表
3	効果的に話す	発声練習・主第一話題—主張作成発表
4	効果的に話す	発声練習・AIDMA を制作発表
5	効果的に話す	発声練習・暗記して話す撮影、プレビュー
6	集団でのコミュニケーション	発声練習・地震に役立つ物

7	感情をコントロール	発声練習・怒り等の感情を知る・ゲーム
8	聞く事の重要性	発声練習・本読み
9	情報収集・プレゼンテーション	発声練習・対話紹介、手引き
10	集団でのコミュニケーション	発声練習・結婚披露宴の席順手引き
11	集団でのコミュニケーション	発声練習・買い物案内図手引き
12	聞き方全般の意識・技術向上	発声練習・気持ちを受け止める
13	受容する事を体感	発声練習・価値観を受け止める
14	話を聞く・話題を振る・空気を読む	発声練習・フリーコミュニケーション
15	1年のまとめ	発声練習・1年を振り返って制作発表

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	観光マーケティング		
必修選択	選択	(学則表記)	観光マーケティング		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	15
使用教材	新版 観光マーケティング入門			出版社	同友館

科目の基礎情報②

授業のねらい	観光業界のマーケティング戦略について理解を深める。				
到達目標	マーケティング理論について学び、各企業の事例を通じて理解する。 ワークを通じて、自分だったらどのような戦略を立てるのか、を考えることができる。				
評価基準	ワークの発表：40％ 提出物：30％ 小テスト：30％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大内 智博			実務経験	○
実務内容	札幌市内のシティホテルにて 20 年勤務。現在「UNWIND Hotel&Bar 札幌」総支配人				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	教員の自己紹介、授業の流れ、評価基準について。
2	3C	Customer (市場・顧客)、Company (自社)、Competitor (競合) の視点で考える。
3	4P①	マーケティング・ミックスについて学ぶ。観光産業のケーススタディ。
4	4P②	ワークを通じて理解する
5	ニーズとウォンツ①	ニーズとウォンツの違いを学ぶ。
6	ニーズとウォンツ②	ワークを通じて理解する。

7	STP①	セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニングについて学ぶ。
8	STP②	ワークを通じて理解する。
9	AIDMA	購買意思決定のプロセスと事例について学ぶ。
10	流通チャネル	旅行商品の流通チャネルについて学ぶ。
11	価格戦略	観光業界における競争市場戦略について学ぶ。
12	SWOT	SWOT 分析のワークを行う。
13	ブランド	ブランディングについて学ぶ。
14	CRM	リピート率を高める事例について学び、ワークを通じて理解する。
15	テスト	テストを実施する。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	一般教養		
必修選択	選択	(学則表記)	一般教養		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	2028 年度版 一般常識 & 最新時事 [一問一答] 頻出 1500 問		出版社	高橋書店	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職試験対策問題の解法を理解し、社会人としての言葉や文章の扱いを身につける		
到達目標	就職試験対策問題の解法を身につけている 社会人としての言葉や文章の扱いを身につけている		
評価基準	テスト 50％ 小テスト 30％ 授業態度 20％		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	熊谷 小百合	実務経験	○
実務内容	旅行会社にて旅行商品販売や留学斡旋業務に従事		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション/国内地理	授業の流れ、ねらいと到達目標について、就職試験の筆記試験について、学力チェック
2	漢字の書き取り・読み 国内地理	漢字の書き取り、読み、難読漢字、国内地理（都道府県位置・県庁所在地・特徴）
3	漢字の書き取り・読み・四字熟語 世界の地形・主な国の首都	漢字の書き取り、読み、世界遺産について
4	漢字・ことわざ・慣用句・数学①	漢字（同音、対義語等）、長文読解、数学①（計算式）
5	敬語・誤文訂正・数学②	敬語（丁寧語・尊敬語・謙譲語）、数学②（計算式）

6	一般教養①・政治法律	一般教養①（名数・賀寿・旧暦）、政治法律（選挙区制度について・経済用語）
7	一般教養②・社会問題	一般教養②（マナー・しきたり・歴代首相）、社会問題について
8	漢字・世界地理・環境問題	漢字（同訓異義語等）、世界地理、環境問題について
9	英語①・稼働率等	英語①（構文、熟語、時事英語）、一般知識、予約稼働率や割引料金の計算練習
10	英語②・経済・数学③	英語②（構文、熟語、時事英語）、経済（円高円安について）、数学③（図形問題）
11	漢字・観光資源	漢字（同訓異義語等）、日本国内観光資源
12	英語③・国際情勢	英語③（構文・熟語・時事英語）、国際情勢について
13	数学④・一般教養③	数学④（文章問題）、一般教養
14	テスト実施	テスト実施
15	まとめと総括	テスト問題解説、質疑応答、総復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネスマナー		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスマナー		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	サービス接客検定 3 級公式テキスト サービス接客検定実問題集 3 級			出版社	早稲田教育出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	様々なサービスの現場で求められる知識を習得し、社会人としての考え方やマナーを身につける。		
到達目標	サービス接客検定 3 級に合格する。 就職活動で問われる一般常識問題を理解することができる。		
評価基準	検定合格 40% 小テスト 30% 授業態度 20% 提出物 10%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	サービス接客検定 3 級		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	吉江 妙子	実務経験	○
実務内容	団体及び個人、美容関係者に対してのセミナー講師企業コンサルティング・サービス接客検定検定員等に従事		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ビジネスマナーとは 敬語① 敬語②	・ 接客業におけるビジネスマナーの重要性を知る ・ 敬語 3 種類の理解を学び、二重敬語など今後の話し方も考える ・ 検定対策の為、話す・書くの両方ができるように理解する
2	サービススタッフの資質	サービス業界で求められている敬語、話し方の重要性を学ぶ
3	専門知識 一般知識	・ サービスの種類や機能について学ぶ ・ 一般知識・ことわざ・慣用句・物の数え方など学ぶ
4	人間関係	職場・来客などのコミュニケーションを良くする方法を学ぶ 一般的なマナーの復習とともに、お客様から信頼される態度や言葉遣いを学ぶ

5	問題処理 環境整備・金品管理 慶事・弔事のマナー	・苦情や問い合わせについての対応方法を学ぶ ・環境整備はお客様の為に大切な事を理解する ・金品管理や金銭授受の言葉と動作、領収書について学ぶ ・祝儀袋の上書き用語・現金の包み方・袱紗などのマナーを学ぶ
6	検定対策①	過去問題より検定対策
7	検定対策②	過去問題より検定対策
8	検定対策③	過去問題より検定対策
9	就職筆記試験対策 英語	一般常識問題（英語）対策
10	就職筆記試験対策 国語	一般常識問題（国語）対策
11	就職筆記試験対策 時事	一般常識問題（時事）対策
12	就職筆記試験対策 社会	一般常識問題（社会）対策
13	就職筆記試験対策 理数	一般常識問題（理数）対策
14	定期テスト	定期テストの実施
15	総合学習	総まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅠA		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	なし			出版社	なし
科目の基礎情報②					
授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー・選考方法・履歴書の書き方を知る。 自己分析の上、自分自身を知り就職活動の準備をする。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な履歴書の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度40％・提出物60％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅠB・インターンシップⅠ・インターンシップⅡ・インターンシップⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	玉井 利基 他1名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	就職活動について 観光業界の仕事について	2 年間の就職活動の流れを把握する 観光業界の職業・職種について知る
2	観光関連企業について	観光企業について調べ方を理解し、実践する
3	身だしなみについて 企業説明会・SPI について	リクルースタイル・オフィスカジュアルについて知る オンライン参加方法やポイント、ワークの注意点や心得について知る
4	インターンシップについて	1day インターンシップとカリキュラムインターンシップの違いを知る インターンシップの制度を知る
5	求人票の見方について 履歴書の書き方	働くことをイメージして、求人票の見方を知る 履歴書の書き方を知り、実践する。

6	面接対策①	面接の流れ、面接の種類、ポイントを学ぶ
7	文章構成方法 就職活動における軸の検討 自己分析について/自己分析の実践 エントリーシート対策	自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う その上で志望動機を作成する
8	同上	同上
9	文章構成方法 就職活動における軸の検討 自己分析について/自己分析の実践 エントリーシート対策	自己分析方法を学び、実際に自己分析を行う その上で志望動機を作成する
10	同上	同上
11	同上	同上
12	面接対策②	面接の流れ、面接の種類、ポイントを理解し、実践する。
13	グループディスカッションについて	グループディスカッションの進め方を理解する・実践する
14	面接・グループディスカッションの実施	理解したポイントや実施方法を実践してみる
15	総合授業	総まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	キャリアデザインⅠB		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリアデザインⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	なし		出版社	なし	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	就職の心構えや企業のエントリー方法を知る。 面接や内定後までの流れを知る。				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な応募書類の書き方を習得する。 面接方法が実践できる。				
評価基準	授業態度 3 0 % ・ 提出物 4 0 % ・ 面接 3 0 %				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	キャリアデザインⅠA ・ インターンシップⅠ ・ インターンシップⅡ ・ インターンシップⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	玉井 利基 他 1 名		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	就職活動のスケジュール 就職先について 就職活動のルールについて	今後の就職活動の流れを把握する アンケートの実施 就職活動のルールや各種届、証明書発行について把握する
2	企業説明会について S P I ・ 一般常識対策	企業説明会の申し込み方法・マナーを再確認する S P I ・ 一般常識の問題を解き、実力をつける
3	身だしなみについて エントリーシートについて	前期復習・身だしなみ再確認 エントリーシートの種類やポイントを知る
4	選考準備の実践	企業調べの実践 自己 PR や志望動機、エントリーシート作成の実践 前期の振り返りを元に面接の実践

5	同上	同上
6	同上	同上
7	同上	同上
8	同上	同上
9	選考準備の実践	企業調べの実践自己 PR や志望動機、エントリーシート作成の実践 前期の振り返りを元に面接の実践
10	面接対策	面接の流れ、面接の種類、ポイントを再確認
11	同上	面接の重要性を把握し、入退室の流れから質問の受け答えまでを学ぶ
12	同上	面接練習
13	同上	同上
14	同上	同上
15	総合授業	総まとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	英語検定対策ⅠA		
必修選択	選択	(学則表記)	英語検定対策ⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	TOEIC L&R テスト直前の技術		出版社	アルク	
	TOEIC L&R テスト英単語ターゲット 1100			旺文社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	英語の基礎力を身につける				
到達目標	英語に慣れ親しみ、TOEIC で自己ベストを出す				
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	TOEIC、英語実用技能検定				
関連科目	英語検定対策ⅠB、英語検定対策ⅠC、英語検定対策ⅠD、 英語検定対策ⅡA、英語検定対策ⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	富田 亜矢		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	初回テスト	初回テスト実施、目標設定
2	オリエンテーション	自己紹介、TOEIC について、到達目標について
3	1 日目	Part2-1~3 リスニング問題/応答問題
4	同上	同上
5	2 日目	Part2-4~6 リスニング問題/応答問題

6	同上	同上
7	3 日目	Part5-1~4 ライティング/ 短文穴埋め問題
8	3 日目	Part5-1~4 ライティング/ 短文穴埋め問題
9	4 日目	Part5-5~8 ライティング/ 短文穴埋め問題
10	同上	同上
11	過去問 1①	模擬試験
12	解答解説①	模擬試験
13	中間期末テスト	中間期末テスト
14	過去問②	模擬試験
15	解答解説②	解答解説

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	英語検定対策ⅠA		
必修選択	選択	(学則表記)	英語検定対策ⅠA		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	7 日間完成英検準 2 級予想問題ドリル 英検過去 6 回全問題集			出版社	旺文社

科目の基礎情報②

授業のねらい	英語の基礎力を身につける				
到達目標	英語に慣れ親しみ、英語実用技能検定で目標級に合格する				
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%				
認定条件	・出席が総時間の 3 分の 2 以上あるもの ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	TOEIC、英語実用技能検定				
関連科目	英語検定対策ⅠB、英語検定対策ⅠC、英語検定対策ⅠD、英語検定対策ⅡA、英語検定対策ⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松尾 智世子			実務経験	○
実務内容	通信制高校にて英語教諭として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回テスト	初回テスト実施、目標設定
2	オリエンテーション	自己紹介、英検について、到達目標について
3	模擬試験	模擬試験
4	解答解説	解答解説
5	DAY1	頻出英単語熟語をマスターしよう！
6	DAY1	頻出英単語熟語をマスターしよう！

7	DAY1	頻出英単語熟語をマスターしよう！
8	DAY2	重要文法事項をマスターしよう！
9	DAY2	重要文法事項をマスターしよう！
10	DAY2	重要文法事項をマスターしよう！
11	DAY3	リスニングテスト攻略法は？
12	DAY3	リスニングテスト攻略法は？
13	DAY4	読解問題のコツをつかもう！
14	DAY4	読解問題のコツをつかもう！
15	中間テスト	中間テスト実施

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	英語検定対策ⅠB		
必修選択	選択	(学則表記)	英語検定対策ⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	TOEIC L&R テスト直前の技術		出版社	アルク	
	TOEIC L&R テスト英単語ターゲット 1100			旺文社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	英語の基礎力を身につける				
到達目標	英語に慣れ親しみ、TOEIC で自己ベストを出す				
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	TOEIC、英語実用技能検定				
関連科目	英語検定対策ⅠA、英語検定対策ⅠC、英語検定対策ⅠD、英語検定対策ⅡA、英語検定対策ⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	富田 亜矢		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	これまでの振り返り
2	5 日目	Part6-1~5 長文穴埋め問題
3	同上	復習問題
4	6 日目	Part3-1~4 会話問題
5	同上	復習問題
6	7 日目	Part3-5~8 会話問題

7	同上	復習問題
8	8 日目	Part4-1~6 説明文問題
9	同上	復習問題
10	9 日目	Part71-7 読解問題
11	同上	復習問題
12	10 日目	Part7-8~10 読解問題
13	11 日目	復習問題/Part5
14	前期テスト	前期テスト実施
15	振り返り	全パート振り返り

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	英語検定対策ⅠB		
必修選択	選択	(学則表記)	英語検定対策ⅠB		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	7 日間完成英検準 2 級予想問題ドリル 英検過去 6 回全問題集		出版社	旺文社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	英語の基礎力を身につける				
到達目標	英語に慣れ親しみ、英語実用技能検定で目標級に合格する				
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	TOEIC、英語実用技能検定				
関連科目	英語検定対策ⅠA、英語検定対策ⅠC、英語検定対策ⅠD、英語検定対策ⅡA、英語検定対策ⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松尾 智世子		実務経験	○	
実務内容	通信制高校にて英語教諭として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	振り返り	これまでをふり返り検定への準備を行う
2	DAY5	重要会話表現をマスターしよう！
3	DAY5	重要会話表現をマスターしよう！
4	DAY5	重要会話表現をマスターしよう！
5	DAY6	英文法の問題の攻略法は？
6	DAY6	英文法の問題の攻略法は？

7	DAY6	英文法の問題の攻略法は？
8	模擬試験	模擬試験
9	解答解説	解答解説
10	模擬試験	模擬試験
11	解答解説	解答解説
12	模擬試験	模擬試験
13	解答解説	解答解説
14	リスニング対策	リスニング対策
15	前期テスト	前期テスト実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	英語検定対策 I C		
必修選択	選択	(学則表記)	英語検定対策 I C		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	TOEIC L&R テスト直前の技術 TOEIC L&R テスト英単語ターゲット 1100			出版社	アルク 旺文社

科目の基礎情報②

授業のねらい	英語の基礎力を身につける		
到達目標	英語に慣れ親しみ、TOEIC で自己ベストを出す		
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	TOEIC、英語実用技能検定		
関連科目	英語検定対策ⅠA、英語検定対策ⅠB、英語検定対策ⅠD、 英語検定対策ⅡA、英語検定対策ⅡB		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	富田 亜矢	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	過去問 1①	模擬試験
2	解答解説①	模擬試験
3	過去問②	模擬試験
4	解答解説②	模擬試験
5	テスト前振り返り	全パート振り返り

6	テスト後振り返り	全パート振り返り
7	1 日目	Part2-1~3 リスニング問題/応答問題
8	1 日目	Part2-1~3 リスニング問題/応答問題
9	2 日目	Part2-4~6 リスニング問題/応答問題
10	同上	同上
11	3 日目	Part5-1~4 ライティング/ 短文穴埋め問題
12	同上	同上
13	4 日目	Part5-5~8 ライティング/ 短文穴埋め問題
14	同上	同上
15	中間テスト	中間テスト実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	英語検定対策 I C		
必修選択	選択	(学則表記)	英語検定対策 I C		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	7 日間完成英検準 2 級予想問題ドリル 英検全問題集			出版社	旺文社

科目の基礎情報②

授業のねらい	英語の基礎力を身につける				
到達目標	英語に慣れ親しみ、英語実用技能検定で目標級に合格する				
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%				
認定条件	・出席が総時間の 3 分の 2 以上あるもの ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	TOEIC、英語実用技能検定				
関連科目	英語検定対策 I A、英語検定対策 I B、英語検定対策 I D、英語検定対策 II A、英語検定対策 II B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松尾 智世子			実務経験	○
実務内容	通信制高校にて英語教諭として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の振り返り	前期で行った内容をふり返り検定への準備を行う
2	模擬試験	模擬試験
3	模擬試験	模擬試験
4	DAY7	準 2 級の面接（スピーキングテスト）はどんなテスト？
5	DAY7	準 2 級の面接（スピーキングテスト）はどんなテスト？
6	DAY7	準 2 級の面接（スピーキングテスト）はどんなテスト？

7	振り返り	準 2 級の振り返り
8	模擬試験	模擬試験準 2 級プラス
9	模擬試験	模擬試験準 2 級プラス
10	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策
11	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策
12	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策
13	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策
14	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策
15	中間テスト	中間テスト

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	英語検定対策ⅠD		
必修選択	選択	(学則表記)	英語検定対策ⅠD		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	TOEIC L&R テスト直前の技術		出版社	アルク	
	TOEIC L&R テスト英単語ターゲット 1100			旺文社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	英語の基礎力を身につける				
到達目標	英語に慣れ親しみ、TOEIC で自己ベストを出す				
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	TOEIC、英語実用技能検定				
関連科目	英語検定対策ⅠA、英語検定対策ⅠB、英語検定対策ⅠC、英語検定対策ⅡA、英語検定対策ⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	富田 亜矢		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	これまでの振り返り	これまでの振り返り
2	Part 4	単語テスト、リスニング、文法
3	同上	単語テスト、文法テスト、リスニング、読解
4	同上	単語テスト、リスニング、文法
5	同上	単語テスト、文法テスト、リスニング、読解
6	Part 5	単語テスト、文法

7	同上	単語テスト、文法テスト、読解
8	Part6	単語テスト、文法
9	同上	単語テスト、文法テスト、読解
10	Part7	単語テスト、文法
11	同上	単語テスト、文法テスト、読解
12	同上	基礎からの振り返り
13	後期テスト	後期テスト
14	振り返り	1 年間の振り返りと実際に使える英語対策
15	振り返り	1 年間の振り返りと実際に使える英語対策

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	英語検定対策ⅠD		
必修選択	選択	(学則表記)	英語検定対策ⅠD		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	7 日間完成英検準 2 級予想問題ドリル 英検過去全問題集		出版社	旺文社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	英語の基礎力を身につける				
到達目標	英語に慣れ親しみ、英語実用技能検定で目標級に合格する				
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	TOEIC、英語実用技能検定				
関連科目	英語検定対策ⅠA、英語検定対策ⅠB、英語検定対策ⅠC、英語検定対策ⅡA、英語検定対策ⅡB				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	松尾 智世子		実務経験	○	
実務内容	通信制高校にて英語教諭として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	これまでの振り返り	これまで行った内容をふり返り検定への準備を行う
2	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策
3	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策
4	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策
5	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策
6	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策

7	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策
8	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策
9	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策
10	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策
11	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策
12	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策
13	準 2 級プラス対策	筆記 & リスニング対策
14	後期テスト	後期テスト実施
15	振り返り	1 年間の振り返りと実際に使える英語対策

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	インバウンド接客英会話 A		
必修選択	選択	(学則表記)	インバウンド接客英会話 A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	観光英検 3 級の精選過去問題			出版社	三修社

科目の基礎情報②

授業のねらい	観光業様々な場面での英語・専門用語を習得する。				
到達目標	観光分野様々な場面での英語・専門用語を習得し、観光英語検定 3 級合格を目指す。				
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	観光英語検定 3 級				
関連科目	英語検定対策 I A,B,C,D				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	富田 亜矢			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業のねらい・到達目標・検定・成績評価について説明 観光英検 3 級の概要
2	精選過去問題第 1 回試験	筆記問題 1-2
3	同上	筆記問題 3-4
4	同上	筆記問題 4-5
5	同上	リスニング問題 6-7
6	同上	リスニング問題 8-9

7	同上	リスニング問題 10
8	精選過去問題第 2 回試験	筆記問題 1-2
9	精選過去問題第 2 回試験	筆記問題 3-4
10	同上	筆記問題 4-5
11	同上	リスニング問題 6-7
12	同上	リスニング問題 8-9
13	同上	リスニング問題 10
14	定期試験	定期テスト実施
15	振り返り	これまでの振り返り

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	インバウンド接客英会話 B		
必修選択	選択	(学則表記)	インバウンド接客英会話 B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	観光英検 3 級の精選過去問題		出版社	三修社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	観光業様々な場面での英語・専門用語を習得する。				
到達目標	観光分野様々な場面での英語・専門用語を習得し、観光英語検定 3 級合格を目指す。				
評価基準	定期テスト 40%、授業態度 30%、小テスト 30%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	観光英語検定 3 級				
関連科目	英語検定対策 I A,B,C,D				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	富田 亜矢		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	前期の振り返り
2	精選過去問題第 3 回試験	筆記問題 1-5
3	同上	リスニング問題 6-10
4	同上	解答・解説
5	同上	解答・解説
6	観光英検過去問題	筆記問題 1-5

7	同上	リスニング問題 6-10
8	同上	解答・解説
9	同上	解答・解説
10	後期テスト対策	精選過去問題 3 回 筆記
11	後期テスト対策	精選過去問題 3 回 筆記
12	後期テスト対策	観光英検過去問題 筆記
13	後期テスト対策	観光英検過去問題 筆記
14	定期試験	定期テスト実施
15	振り返り	これまでの振り返り

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	手話		
必修選択	選択	(学則表記)	手話		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	手話奉仕員養成テキスト 手話で学ぼう手話で話そう (全面改訂版)		出版社	社会福祉法人全国手話研修センター	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	聴覚障害者の言語である「手話」の基本と聴覚障害者に関する知識を学ぶ。				
到達目標	・接客場面に於ける聴覚障害者への配慮と対応方法を学び、基本的な手話を習得し、実践できる。 ・外見では分かりにくい聴覚障害についての理解を深めながら、実際に聴覚障害者と接した時に、適切な対応ができ、且つ積極的なコミュニケーションをとるための方法を学ぶ。				
評価基準	筆記試験：40％ 読み取り試験：30％ 小テスト：20％ レポート：10％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	全国手話検定				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	若浜 ひろ子		実務経験	○	
実務内容	札幌市職員向け手話研修・公益社団法人札幌聴覚障害者協会主催・中級手話教室・札幌市社会福祉協議会ボランティア活動センター、札幌市小中学校、企業研修に於ける「手話」及び「聴覚障害の理解」の講師を担当				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 聴覚障害の基礎知識Ⅰ	授業の説明・注意事項 講義：聴覚障害者・コミュニケーションについて
2	あいさつ、自己紹介	自分の名前を手話や指文字で表わせるようにする
3	数字・家族・自己紹介	数字の表し方、疑問詞の使い方を知る 家族に関わる手話を覚える

4	講義：聴覚障害者の生活Ⅰ 地名・自己紹介	聴覚障害者の生活を考える。 身近な地名や交通の手段について話すことができる
5	接客の時に使う手話Ⅰ 気持ちを表わす手話	接客関係の仕事を中心にいろいろな職業の表し方を覚える 表情や手話の強弱を使って話すことできる
6	聴覚障害者の生活Ⅱ 職業・自己紹介	講義：聴覚障害者の生活について～講師の体験～ 仕事に関わる表現を学ぶ
7	時間表現・まとめⅠ	1 日に関わる手話を覚える 自己紹介のまとめ 読み取りテスト
8	聴覚障害の基礎知識Ⅱ 接客対応例文Ⅱ	講義：耳の仕組み・聞こえの仕組みについて 接客時に使う会話例文
9	まとめⅠ・Ⅱ	自己紹介、疑問詞、指文字の復習をする
10	時に関わる表現	1 週間の生活について簡単な文を話すことができる
11	具体的表現・空間の活用	物の形や手の動作を使って身の回りにあるものを表すことができる
12	他の人の話を伝える表現	動詞の動きと方向を活用して、他の人が話したことを伝えることができる
13	接客対応例文Ⅲ 手話検定に向けての学習	接客時に使う会話練習する 手話検定 5 級・4 級に向けて対策を行う
14	定期試験	試験を実施する
15	総まとめ 手話検定に向けての学習	試験の振り返りとまとめ

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	パソコン演習 A		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習 A		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエトラベル科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集 3 級・模擬問題集 3 級 30 時間でマスター Word & Excel 2021		出版社	株式会社ユアサポート 実教出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得				
到達目標	社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる				
評価基準	検定・テスト 6 0 %、課題提出 2 0 % 授業態度 2 0 %				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者、成績評価が 2 以上の者				
関連資格	パソコン技能検定 3 級（後期パソコン演習 B にて実施）				
関連科目	パソコン演習 B				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高橋 めぐみ		実務経験	○	
実務内容	システムエンジニアとして 7 年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション・PC 基礎知識	授業の流れ、検定と到達目標を把握する PC 基礎知識、タッチタイピング、ソフト、OC の使用方法、リテラシーについて理解する
2	Word 入門①	Word の基礎知識について・文字入力方法を理解する
3	Word 入門②	文章入力、入力の訂正、特殊な入力方法を学ぶ
4	Word 入門③	文の入力、文書の保存と読み込み、印刷、複写・削除・移動を学ぶ
5	Word 活用	文字揃え、文字装飾、均等割り付け、フォントの変更、サイズの変更、下線・太字・斜体を学ぶ
6	Word 応用①	表の作成・編集を実施する

7	Word 応用②	表の作成・編集を実施する
8	文書作成	表入りビジネス文書作成を実施する
9	Excel 入門	データ入力の手順、基本的なワークシートの編集、Excel 書式設定について理解する
10	Excel 応用①	オート SUM、関数、四則演算を実施する
11	Excel 応用②	グラフの作成、グラフの設定変更を実施する
12	検定対策①	表入りビジネス文書作成練習、学科問題を実施する
13	検定対策②	表入りビジネス文書作成練習、学科問題を実施する
14	前期確認テスト	確認テスト(学科、タイピング、Word 文書作成)を実施する
15	前期パソコン演習 A 復習	前期パソコン演習 A の総まとめ 確認テスト問題解説を実施する

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	パソコン演習 B		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン演習 B		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエトラベル科	1	30
使用教材	パソコン技能検定対策問題集 3 級・模擬問題集 3 級 30 時間でマスター Word&Excel 2021 今すぐ使えるかんたん PowerPoint [Office 2024/Microsoft 365 両対応]			出版社	株式会社ユアサポート 実教出版 秀和システム
科目の基礎情報②					
授業のねらい	検定取得を目指し、基本的な入力方法から書類作成など、パソコンの技能を習得				
到達目標	検定合格をすることで、社会人として必要とされるパソコンの基礎操作ができるようになる				
評価基準	テスト 6 0 %、課題提出 2 0 % 授業態度 2 0 %				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者、成績評価が 2 以上の者				
関連資格	パソコン技能検定 3 級				
関連科目	パソコン演習 A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高橋 めぐみ			実務経験	○
実務内容	システムエンジニアとして 7 年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	PowerPoint 入門	テキストボックス、図形、画像の挿入等、今まで学んだ Word,Excel を踏まえ PowerPoint の動作を学ぶ
2	パワーポイント基礎①	プレゼンテーションとは、PPT の基本操作を学ぶ
3	パワーポイント基礎②	パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料の作成を行う
4	パワーポイント基礎③	パワーポイントを使ったプレゼンテーション資料の作成を行う
5	Word 復習	表入りビジネス文書作成と復習を行う

6	Excel 復習①	表計算問題を実施する
7	Excel 復習②	表計算問題を実施する
8	Word・Excel 復習	表入りビジネス文書、表計算問題を実施する
9	検定対策①	模擬問題実施(学科、タイピング、Word 文書作成、表計算問題)
10	検定対策②	模擬問題実施(学科、タイピング、Word 文書作成、表計算問題)
11	後期テスト	学科、タイピング、Word 文書作成、表計算問題の実施
12	問題解説	確認テスト問題解説を行う
13	パワーポイントプレゼン制作	オリジナルプレゼンテーションの作成を行う
14	パワーポイントプレゼン応用	オリジナルプレゼンテーションにアニメーション、音楽の挿入を行う
15	総合授業	総まとめを実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	観光実践 I		
必修選択	選択	(学則表記)	観光実践 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	45
使用教材	講師作成プリント			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	観光業の基本であるホテル・エアライン・旅行業界に関する知識を身につける				
到達目標	観光業の魅力をお客様に伝えることができる ホテル・航空・旅行業界それぞれの特性を理解している				
評価基準	レポート 50% 発表 30% 授業態度 20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	玉井 利基 他 1 名			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標、オリエンテーション
2	業界理解①	ホテル・エアライン・旅行・観光業界について理解する
3	業界理解②	業界について調べる①
4	業界理解③	業界について調べる②
5	業界理解④	発表
6	観光地理解①	観光地について①

7	観光地理解②	観光地について②
8	観光地理解③	北海道内で実施できるアクティビティについて①
9	観光地理解④	北海道内で実施できるアクティビティについて②
10	観光地理解⑤	観光施設について①
11	観光地理解⑥	観光施設について②
12	宿泊研修①	オリエンテーション
13	宿泊研修②	ホテル見学①
14	宿泊研修③	ホテル見学②
15	宿泊研修④	テーブルマナー講習①
16	宿泊研修⑤	テーブルマナー講習②
17	宿泊研修⑥	企業講話①
18	宿泊研修⑦	企業講話②
19	宿泊研修⑧	企業講話③
20	宿泊研修⑨	観光地見学・アクティビティ①
21	宿泊研修⑩	観光地見学・アクティビティ②
22	宿泊研修⑪	観光地見学・アクティビティ③
23	宿泊研修⑫	観光地散策①
24	宿泊研修⑬	観光地散策②
25	宿泊研修⑭	観光地散策③

26	宿泊研修⑮	観光地散策④
27	宿泊研修振り返り①	宿泊研修振り返り①
28	宿泊研修振り返り②	宿泊研修振り返り②
29	エアライン研修①	エアライン研修オリエンテーション
30	エアライン研修②	空港見学①
31	エアライン研修③	空港見学②
32	エアライン研修④	空港見学③
33	エアライン研修⑤	エアライン企業講話①
34	エアライン研修⑥	エアライン企業講話②
35	エアライン研修⑦	エアライン企業講話③
36	エアライン研修振り返り	エアライン研修振り返り
37	ツアー研修①	ツアー研修オリエンテーション
38	ツアー研修②	旅行会社講話①
39	ツアー研修③	旅行会社講話②
40	ツアー研修④	旅行会社講話③
41	ツアー研修⑤	観光施設見学①
42	ツアー研修⑥	観光施設見学②
43	ツアー研修⑦	観光施設見学③
44	ツアー研修振り返り	ツアー研修振り返り

45	総まとめ	総まとめ
----	------	------

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	実技	科目名	アウトドア基礎		
必修選択	選択	(学則表記)	アウトドア基礎		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	北海道アウトドアテキスト基礎編		出版社	北海道体験観光推進協議会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	市内探索や野外活動を通じて、観光の基礎を学ぶ				
到達目標	観光業の基礎的な知識が身についている 北海道の観光地を知り、お客様にアクティビティの提案や危険性が説明出来るようになる				
評価基準	レポート 40%、習熟度テスト 30%、授業態度 30%				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	弘中 祐		実務経験	○	
実務内容	アウトドアガイド、野外教育指導者として従事。2017 年より札幌市内にてアウトドアアクティビティの会社を経営				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	観光業とは	観光業全般について学ぶ
3	市内探索オリエンテーション	市内探索をするにあたっての注意点、オリエンテーション
4	市内探索①	市内の施設見学①
5	市内探索②	市内の施設見学②
6	市内探索③	市内の施設見学③

7	市内探索振り返り	市内探索振り返りレポート作成
8	市内探索振り返り	市内探索振り返りレポート作成
9	野外活動オリエンテーション	円山公園探索、北海道神宮を参拝するにあたっての注意点、オリエンテーション
10	野外活動①	円山公園探索、北海道神宮参拝①
11	野外活動②	円山公園探索、北海道神宮参拝②
12	野外活動③	円山公園探索、北海道神宮参拝③
13	野外活動④	円山公園探索、北海道神宮参拝④
14	野外活動⑤	円山公園探索、北海道神宮参拝⑤
15	野外活動振り返り	円山公園探索、北海道神宮参拝振り返りレポート作成
16	野外活動振り返り	円山公園探索、北海道神宮参拝振り返りレポート作成
17	習熟度テスト	キャンプ実習の内容説明と準備
18	キャンプ実習オリエンテーション ①	キャンプ実習のための準備①
19	キャンプ実習オリエンテーション ②	キャンプ実習のための準備②
20	キャンプ実習オリエンテーション ③	アクティビティのための準備①
21	キャンプ実習オリエンテーション ④	アクティビティのための準備②
22	キャンプ実習オリエンテーション ⑤	キャンプ中に起こり得るケガと対応
23	デイキャンプ実習①	移動
24	デイキャンプ実習②	アクティビティオリエンテーション
25	デイキャンプ実習③	アクティビティ実施①

26	デイキャンプ実習④	アクティビティ実施②
27	デイキャンプ実習⑤	バーベキュー準備
28	デイキャンプ実習⑥	バーベキュー実施①
29	デイキャンプ実習⑦	バーベキュー実施②
30	デイキャンプ実習⑧	移動

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	レストランサービス検定対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス検定対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	西洋料理料飲接客サービス技法 レストランサービス技能検定 学科試験合格をめざして		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	国家検定試験受験に向けて、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な知識を習得する				
到達目標	国家検定 レストランサービス技能士 3 級 学科試験合格				
評価基準	授業態度 20% 各章のまとめ 20%× 4 回				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士 3 級				
関連科目	レストランサービス検定対策Ⅱ レストランサービス演習Ⅰ・Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大川 綺萌		実務経験	○	
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8 年（レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 食材・飲料等の基礎知識 1	授業の流れ、到達目標について 食品の分類別特徴、食品の管理、西洋料理に使用される主な食材について
2	同上	同上
3	食材・飲料等の基礎知識 2	西洋料理に使用される主な食材について
4	同上	同上
5	食材・飲料等の基礎知識 3	一般的な西洋料理調理法等について

6	同上	同上
7	まとめ	演習問題を実施する
8	同上	同上
9	料飲概論	アルコール飲料について
10	同上	同上
11	食材・飲料等の基礎知識 4	ワインの知識、その他の飲料について
12	同上	同上
13	食材・飲料等の基礎知識 5	メニュー構成について
14	同上	同上
15	まとめ	演習問題を実施する
16	まとめ	演習問題を実施する
17	食材・飲料等の基礎知識 6	食器類について 料飲サービススタッフの役割と求められる資質について
18	同上	同上
19	宴会とレストランサービス 1	料理と飲み物のサービスについて
20	同上	同上
21	まとめ	演習問題を実施する
22	同上	同上

23	宴会とレストランサービス 2	レストランにおける接遇について
24	同上	同上
25	宴会とレストランサービス 3	ワゴンサービスについて
26	同上	同上
27	宴会とレストランサービス 4	一般的な救護方法ならびに食事のサービスマナーについて
28	同上	同上
29	総まとめ	総まとめの演習問題を実施する
30	同上	同上

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	エンターテイメント演習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	エンターテイメント演習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	HBA オフィシャルバーテンダーズブック		出版社	(一社)日本ホテルバーメンズ協会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ホテルバーについての基礎知識を学ぶ				
到達目標	各酒の基礎知識が身についている 各酒の種類の概要について、説明することができる				
評価基準	小テスト：60％ 実技：20％ 授業態度：20％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	玉井 利基		実務経験	○	
実務内容	ハイブランドホテル「アマン東京」にて料飲部門にて勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第 1 章 HBA 学	授業の流れ、到達目標について、成績評価について 日本のホテル史・ホテルパー史
2	第 2 章 酒の基礎知識	酒の出現と人類の関わり 酒造りの原理、酒類の分類
3	第 3 章 醸造酒の概要①	ワインの概要、歴史、原料、栽培、製造工程
4	第 3 章 醸造酒の概要②	ワインのタイプ、各国のワイン
5	第 3 章 醸造酒の概要③	ビールとは何か、歴史、原料、製造工程、世界のビールとその種類 清酒とは何か、歴史、原料、製造工程、清酒の製造において使われる用語、小テスト

6	第 4 章 蒸留酒の概要①	ウィスキーとは何か、誕生とその歴史、製造工程、世界のウィスキーとその特徴
7	第 4 章 蒸留酒の概要②	ブランデーとは何か、歴史、原料と製造工程、種類
8	第 4 章 蒸留酒の概要③	ジン、ウォッカ、ラム、テキーラとは何か、歴史、原料と製造工程、種類、小テスト
9	第 5 章 混成酒の概要	リキュールとは何か、歴史、原料、製造工程、種類
10	第 6 章 ソフトドリンクの概要	人間と飲み物の必要性、ソフトドリンクの定義と分類
11	第 7 章 副材料の基礎知識	副材料とは何か、ハーブ・スパイス類・柑橘系フルーツ類・その他のフルーツ類・野菜・砂糖・シロップの種類と特徴、小テスト
12	第 8 章 バー・ツール&グラスの基礎知識	バー・ツール、グラス
13	第 9 章 カクテル調合の基礎知識	カクテルの語源、何か、歴史、4 つのカクテル調整技法、スタイル、氷、デコレーションの基礎知識、調整の手順、注意点
14	カクテル創作実習	今まで学んだ知識を活かして、カクテルを作成する
15	総まとめ	今までの総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ホテル実務実習		
必修選択	選択	(学則表記)	ホテル実務実習		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエトラベル科	1	30
使用教材	宿泊業務の基礎		出版社	一般社団法人 日本ホテル教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ホテルの基礎知識を身に付け、マネジメントの観点からホテルを理解する		
到達目標	・ ホテル業界の基礎知識を身に付ける ・ ホテル業務について実習を通して体得する ・ マネジメントの観点からホテルを理解する		
評価基準	・ 筆記テスト 3 0 % ・ 実技テスト 3 0 % ・ 小テスト 2 0 % ・ 授業態度・ 提出物 2 0 %		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格			
関連科目	ホテルマネジメント A、ホテルマネジメント B		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	大内 智博	実務経験	○
実務内容	札幌市内のシティホテルにて 20 年勤務。現在「UNWIND Hotel&Bar 札幌」総支配人		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第 1 章 宿泊業の基本	授業の進め方と到達目標について 宿泊業の定義と分類 旅館業の営業区分・種別
2	オリエンテーション 第 1 章 宿泊業の基本ワーク	学習課題の中から個人ワーク、もしくはグループワーク
3	第 2 章 ホテルにおける 宿泊部門と業務の基本	旅館とホテルの相違点 サービスの定義 宿泊部門の使命と役割
4	第 2 章 ホテルにおける 宿泊部門と業務の基本	宿泊部門におけるスタッフの姿勢と基本知識 今後求められる能力と資質
5	第 2 章 ホテルにおける 宿泊部門と業務の基本	学習課題の中から個人ワーク、もしくはグループワーク

6	第 3 章 宿泊部門の業務	オペレーション・サイクルとゲスト・サイクル オペレーション・サイクルにおける対応と相当業務
7	第 3 章 宿泊部門の業務	タイプ別に見る宿泊部門の位置付け 新型コロナ・ウイルス感染症がもたらしたニュー・ノーマルと新たな対応
8	第 3 章 宿泊部門の業務ワーク	学習課題の中から個人ワーク、もしくはグループワーク
9	第 4 章 ロビー・サービス	ロビー・サービスとは ドア・パーソンの業務ベルパーソンの業務
10	第 4 章 ロビー・サービスとワーク	クロークの業務 ロビー・サービスにおける苦情の原因と対処方法 学習課題の中から個人ワーク、もしくはグループワーク
11	第 5 章 ハウスキーピング 第 6 章 フロント・オフィス	ハウスキーピングとは 客室タイプとレイアウト ハウスキーピング業務の流れ 環境問題に本腰を入れ始めた国内ホテル業界 ハウスキーピングにおける苦情の原因と対処方法 フロント・オフィスの位置づけ
12	宿泊業務実習①	フロント、ベルスタッフの業務内容の実践
13	宿泊業務実習②	客室アattend業務、客室内説明の実践
14	宿泊業務実習③	宿泊業務に関する業務内容の実践まとめ
15	総まとめ	これまでの宿泊業務に関するまとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	レストランサービス演習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	レストランサービス演習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	基礎からわかるレストランサービススタンダードマニュアル		出版社	一般財団法人 職業訓練教材研究会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	国家検定試験受験に向けて、レストランにおける料飲ならびにサービスマナーに関する基本的な知識を習得する				
到達目標	国家検定レストランサービス技能士 3 級 実技試験合格を目標として、ホテルサービスの基本知識と技術をもった人材になる				
評価基準	実技テスト 40％ まとめ実践（グループ評価）40％ 授業態度 20％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	国家検定 レストランサービス技能士 3 級				
関連科目	レストランサービス検定対策Ⅰ・Ⅱ レストランサービス演習Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	大川 綺萌 他 1 名		実務経験	○	
実務内容	結婚式場でのサービススタッフ 8 年（レストランサービス、結婚式当日のディレクション、アルバイトの研修・マネジメント）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本動作	授業の流れ 到達目標について 立ち居振る舞いの実践をする
2	同上	同上
3	接客用語 来店・退店のご案内	接客用語について 店内の誘導、離着席時の補助
4	同上	同上

5	什器備品の知識 1 サービストレイの扱い方 2	シルバーウェアの名称と用途について トレイサービスを実践する
6	同上	同上
7	サーバーの扱い方	サーバーを使用したサービスの実践
8	サーバーの扱い方	サーバーを使用したサービスの実践
9	水とワインのサービス	水・ワインの注ぎ方を実践する
10	同上	同上
11	什器備品の知識 2 リネングッズの扱い	リネン類の名称と用途について ナフキンホールドとクロス掛けを実践する
12	同上	同上
13	テーブルセッティング 1	朝食と昼食のセッティングについて 朝食と昼食のセッティングを実践する
14	同上	同上
15	テーブルセッティング 2	フランス料理フルコースについて フルコースのセッティングを実践する
16	同上	同上
17	プレートサービス	料理皿の扱いを実践する
18	同上	同上
19	まとめ	学んだことを実践する
20	同上	同上
21	グループワーク 1	お迎えからお見送りまでの一連の作業をチームで行う
22	同上	同上

23	グループワーク 2	お迎えからお見送りまでの一連の作業をチームで行う
24	同上	同上
25	グループワーク 3	お迎えからお見送りまでの一連の作業をチームで行う
26	同上	同上
27	グループワーク 4	お迎えからお見送りまでの一連の作業をチームで行う
28	同上	同上
29	総まとめ	これまでのサービス業務に関するまとめを行う
30	同上	同上

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	国内地理Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	国内地理Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	旅行業務取扱管理者試験 標準トレーニング問題集 1 観光地理<国内・海外> 講師作成テキスト		出版社	大原出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	国内観光地理および資源における必要な知識について学ぶ。				
到達目標	国家試験・国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指す				
評価基準	テスト：50％ 小テスト：30％ 提出物：20％				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	国内旅行業務取扱管理者				
関連科目	JR 運賃計算Ⅰ、旅行業法Ⅰ、旅行業約款Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	濱中 淳子		実務経験	○	
実務内容	旅行会社にて添乗員として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、日本の地理における一般常識、到達目標について
2	北海道	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
3	北東北	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
4	南東北	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
5	関東	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。

6	北陸	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
7	中部	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
8	関西	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
9	中国	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
10	四国	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
11	九州北部	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
12	九州南部	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
13	沖縄	各県の温泉・自然景観・観光資源について学ぶ。
14	全国の観光資源のまとめテスト	区域の概要、観光資源について学ぶ。
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	J R 運賃計算 I		
必修選択	選択	(学則表記)	J R 運賃計算 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	標準トレーニング問題集 3 国内旅行実務 講師作成テキスト		出版社	大原出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	JRをはじめとする各種交通機関の運賃料金、宿泊料金を理解する		
到達目標	国内旅行業務取扱管理者合格を目指す		
評価基準	定期テスト：40％ 小テスト：30％ 提出物：30％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	国内旅行業務取扱管理者		
関連科目	旅行業約款Ⅰ、旅行業法Ⅰ、国内地理Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	熊谷 小百合	実務経験	○
実務内容	旅行会社にて旅行商品販売や留学斡旋業務に従事		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 第一部 旅客鉄道会社 (JR)	授業のねらい・到達目標・成績評価について説明 第一章 旅客営業規則の概要等
2	第一部 旅客鉄道会社 (JR)	第二章 乗車券類発売の概要
3	第一部 旅客鉄道会社 (JR)	第三章 運賃 (普通乗車券の効力まで)
4	第一部 旅客鉄道会社 (JR)	第三章 運賃 (個人割引・団体割引)
5	第一部 旅客鉄道会社 (JR)	運賃チェックテスト実施/第四章 料金
6	第一部 旅客鉄道会社 (JR)	第四章 料金 (新幹線内乗継まで)

7	第一部 旅客鉄道会社 (JR)	第四章 料金 (乗継割引)
8	第一部 旅客鉄道会社 (JR)	第四章 料金 (乗継割引/北陸新幹線の取り扱い/東海道・山陽・九州新幹線の取り扱い等)
9	第一部 旅客鉄道会社 (JR)	第五章 変更・取消し・払戻し
10	第一部 旅客鉄道会社 (JR)	第六章 回数乗車券の取扱い/第七章 団体乗車券の取扱い/第八章 特別企画乗車券
11	第二部 航空	第一章 航空券販売の概要
12	第二部 航空	第二章 運賃・料金等
13	第二部 航空	第二章 運賃・料金等
14	定期テスト	テスト実施
15	まとめ	定期テスト返却と解答・解説、JR・国内航空 総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	旅行業法 I		
必修選択	選択	(学則表記)	旅行業法 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	標準トレーニング問題集 2 旅行業法・約款 講師作成テキスト		出版社	大原出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	国内旅行業務取扱管理者試験の合格を目指し、旅行業に関する法制度を理解し体得する。 旅行業等を営む者にとって遵守すべき事柄を規定した法律であることを理解しつつ、目的やそれらを達成する為に設けられた制度と旅行実務についての知識を深める。		
到達目標	国内旅行業務取扱管理者試験における「旅行業法」において合格ラインレベル以上を身につける。 旅行業法及びこれに基づく法令を理解し、観光業界就職を目指す原動力とする。		
評価基準	テスト：50％ 小テスト：30％ 提出物：20％		
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者		
関連資格	国内旅行業務取扱管理者		
関連科目	JR 運賃計算Ⅰ、国内地理Ⅰ、旅行業約款Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	熊谷 小百合	実務経験	○
実務内容	旅行会社にて旅行商品販売や留学斡旋業務に従事		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 旅行業法第 1 章 総則	授業のねらい・到達目標・成績評価について説明 旅行業の現状説明・概要および旅行業法の目的と定義
2	旅行業法第 2 章①	旅行業及び旅行業者代理業者について
3	旅行業法第 2 章②	旅行サービス手配業の登録制度について
4	旅行業法第 2 章③	営業保証金制度について、旅行業務取扱管理者
5	旅行業法第 2 章④	習熟度テスト 旅行サービス手配業務取扱管理者について

6	旅行業法第 2 章⑤	料金の揭示・旅行業約款
7	旅行業法第 2 章⑥	取引条件の説明・書面の交付 外務員の証明書の携帯等 広告・標識の揭示
8	旅行業法第 2 章⑦	旅程管理 禁止行為 受託契約 習熟度テスト
9	旅行業法第 2 章⑧	旅行業者代理業者
10	旅行業法第 2 章⑨	事業の廃止等・業務改善命令・登録の取り消し等
11	テスト	テスト実施
12	テスト解説 傾向と対策の実践	前回テストの解説と練習問題等にて傾向と対策の実践
13	過去問演習	過去問にて総復習
14	過去問演習	過去問にて総復習
15	過去問演習	過去問にて総復習

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	旅行業約款Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	旅行業約款Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	標準トレーニング問題集 2 旅行業法・約款 講師作成テキスト		出版社	大原出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	国内旅行業務取扱管理者合格を目指し、必要な知識を身につける				
到達目標	国内旅行業務取扱管理者資格 合格				
評価基準	テスト：50％ 小テスト・模擬試験：30％ 提出物：20％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	国内旅行業務取扱管理者				
関連科目	JR 運賃計算Ⅰ、国内地理Ⅰ、旅行業法Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	熊谷 小百合		実務経験	○	
実務内容	旅行会社にて旅行商品販売や留学斡旋業務に従事				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1 部 第 1 章 総則	授業のねらい・到達目標・成績評価について説明 適用範囲/用語の定義/旅行契約の内容(募集型・受注型)
2	1 部 第 2 章 契約の締結	契約の申込み/契約締結の拒否/契約成立時期等 (募集型・受注型)
3	1 部 第 3 章 契約の変更	契約内容の変更/旅行代金の額の変更/旅行者の交替 (募集型・受注型)
4	1 部 第 4 章 契約の解除	旅行者の解除権/旅行会社の解除権等 (募集型・受注型)
5	1 部 第 5 章 団体・グループ契約	団体・グループ契約 (募集型・受注型)
6	1 部 第 6 章 旅程管理	旅程管理 (募集型・受注型)

7	1 部 第 7 章 責任	旅程保証/特別補償（募集型・受注型）
8	旅行相談契約の部	旅行相談契約/理解度チェックテスト
9	国内旅客運送約款①	国内旅客運送約款について
10	国内旅客運送約款②	国内旅客運送約款について/理解度チェックテスト
11	貸切バス・フェリー標準運送約款	貸切バス/フェリー標準運送約款
12	フェリー標準運送約款・モデル宿泊約款	フェリー標準運送約款/モデル宿泊約款/理解度チェックテスト
13	総合まとめ	過去問を解く
14	総合まとめ	過去問を解く
15	総合まとめ	過去問を解く

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エアライン業界総合 I		
必修選択	選択	(学則表記)	エアライン業界総合 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	30
使用教材	エアライン・ビジネス入門 第 2 版 講師作成資料			出版社	晃洋書房

科目の基礎情報②

授業のねらい	エアライン業界の基礎知識および空港旅客業務の業務内容と基礎知識を習得する				
到達目標	エアライン業界の歴史と現状及び航空各社の経営戦略について理解することができる。 航空業界用語および日本の主要空港と航空会社の 2 レター、3 レターを理解し、覚えている。 空港旅客業務の内容を理解し、説明する事が出来る				
評価基準	テスト：30% 小テスト：20% 提出物：20% (意欲・態度 30%)				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格	無				
関連科目	空港カウンター演習 I				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	亀倉 麻紀子			実務経験	○
実務内容	航空会社勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について エアライン業界の仕事について考える
2	航空会社事業論	航空会社の関連事業（航空直結事業関連会社と周辺事業会社）について学ぶ 旅客ハンドリング会社について学ぶ
3	空港業務と旅客ハンドリング①	エアラインスタッフに求められる人材像について考える グランドスタッフの業務内容について詳しく学ぶ
4	空港業務と旅客ハンドリング①	ステーション・オペレーションとグランドハンドリングについて学ぶ
5	航空貨物輸送	航空貨物輸送の特徴と業務の概要について学ぶ

6	客室におけるサービス	客室乗務員の業務内容について学ぶ
7	エアライン・ビジネスとは	エアライン・ビジネスの特徴、特性について学ぶ
8	エアライン・ビジネスの歴史①	航空行政の歴史を知りさまざまな観点から学ぶ
9	エアライン・ビジネスの歴史②	日本の民間航空の歴史について学ぶ
10	日本の空港①	空港の種類と数、位置づけを理解する 日本の主要な空港と空港3レターについて学ぶ
11	日本の空港②	空港の機能と施設・設備について学ぶ 空港の課題とこれからの空港について学ぶ
12	日本のエアラインとLCC	日本の主要な航空会社と航空会社の2レター3レターについて学ぶ LCCの概要と日本のLCCについて学ぶ
13	航空業界用語	旅客ハンドリング用語と略語、アルファベットの読み方を学ぶ
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	エアライン面接対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	エアライン面接対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエトラベル科	2	30
使用教材	CA GS エアライン受験対策 書き込み式テキスト		出版社	ベンコム出版	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	航空会社が求める人物像を理解し、エアライン採用試験突破のために必要なスキルを体得する				
到達目標	航空会社が求める人物像を理解し、エアライン採用試験突破のために必要なスキルを身に付ける				
評価基準	意欲・態度：60％ 提出物：40％				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	林 美香 他 1 名		実務経験	○	
実務内容	航空会社勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	第 1 章	授業の流れ、到達目標について、目標設定
2	同上	身だしなみ、エアライン面接メイク・ヘアメイク実践
3	第 2 章	航空業界研究
4	第 3 章	自己分析
5	同上	自己 PR
6	第 4 章	職種研究

7	第5章	日本の航空史と企業研究
8	第5章	志望動機
9	第6章	第一印象と動画面接
10	第7章	入退室のマナー/エアライン面接試験の特徴
11	第8章	面接練習①
12	同上	面接練習②
13	同上	面接練習③
14	第9章	グループディスカッション
15	同上	グループワーク

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	エアライン英会話Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	エアライン英会話Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	飛行機・空港の英会話		出版社	NOVA ホールディングス株式会社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	グランドスタッフとして接客に必要なビジネス英会話ができるようになる。				
到達目標	グランドスタッフとして接客に必要なビジネス英会話ができるようになる。				
評価基準	実技テスト：40％ 筆記テスト：30％ 授業態度：30％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	Darcy Lewis		実務経験	○	
実務内容	英会話スクールにて英会話指導に従事				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	基礎知識①	お金の数字・通貨・時間の表現について
3	基礎知識②	看板・パスポートの見方について
4	基礎知識③	空港内の設備について
5	出国時①	フライトの情報の確認について 1
6	出国時②	フライトの情報の確認について 2

7	出国時③	チケットの手配について
8	出国時④	チェックインカウンターについて
9	出国時⑤	手荷物検査・セキュリティチェックについて
10	出庫時⑥	空港アナウンスについて①
11	出国時⑦	空港アナウンスについて②
12	出国時⑧	トラブル発生時の対応
13	出国時⑨	免税店について
14	テスト	テストを実施する
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	空港カウンター演習 I		
必修選択	選択	(学則表記)	空港カウンター演習 I		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	A N A グランドスタッフ入門 最新版			出版社	イカロス出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	グランドスタッフとして即戦力となり得る知識、振る舞いを身に付ける				
到達目標	グランドスタッフとしての基礎知識を身に付け、カウンターでのチェックイン業務、搭乗ゲート業務、到着業務の基本動作が出来るようになる				
評価基準	実技テスト：40% 小テスト：20% 提出物：20% 意欲・態度：20%				
認定条件	・出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	エアライン業界総合 I				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	亀倉 麻紀子			実務経験	○
実務内容	大手航空会社にてグランドスタッフとして勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について、GS の仕事とは
2	GS としての基本マナー①	身だしなみ、エアラインメイク・ヘアメイク実践
3	GS としての基本マナー②	グランドスタッフに相応しいマナー
4	GS としての基本マナー③	小テスト、立ち居振る舞い
5	カウンター業務・基本①	チェックイン業務について
6	カウンター業務・基本②	手荷物のルールと手荷物預かり業務の実践

7	カウンター業務・基本③	チェックイン業務シミュレーション
8	アナウンス基礎①	アナウンス座学
9	アナウンス基礎②	アナウンス座学
10	搭乗ゲート業務	搭乗ゲート業務について
11	アナウンス実習①	搭乗ゲートにおけるアナウンス実習
12	アナウンス実習②	搭乗ゲートにおけるアナウンス実習
13	到着業務	到着業務について
14	総まとめ	総まとめ
15	実技テスト	実技テスト実施

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	機内サービス演習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	機内サービス演習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	1	30
使用教材	講師作成テキスト			出版社	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	客室乗務員として即戦力となり得る知識、振る舞いを身に付ける				
到達目標	客室乗務員としての基礎知識を身に付け、機内でのサービス業務や保安業務の基本動作が出来るようになる				
評価基準	実技テスト：40％ 小テスト：20％ 提出物：20％ 意欲・態度：20％				
認定条件	・ 出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 ・ 成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	エアライン業界総合Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	沢田 泰弘			実務経験	○
実務内容	航空会社にて客室乗務員として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について、客室乗務員の仕事とは
2	CA としての基本マナー①	身だしなみ、メイク・ヘアメイク
3	CA としての基本マナー②	挨拶・お辞儀、表情、立ち居振る舞い
4	CA としての基本マナー③	聴き方、言葉遣い
5	CA サービス業務・基本①	敬語小テスト実施、ドリンクサービス①
6	CA サービス業務・基本②	ドリンクサービス②

7	実技テスト①	ドリンクサービス実技テスト
8	CA 保安業務・基本①	離陸前安全確認①
9	CA 保安業務・基本②	離陸前安全確認②
10	CA 保安業務・基本③	セーフティデモンストレーション
11	実技テスト②	保安業務実技テスト
12	アナウンス実習①	機内アナウンス実習①
13	アナウンス実習③ ②	機内アナウンス実習②
14	実技テスト③	アナウンス実技テスト実施
15	総まとめ	半期の授業の総復習

シラバス					
科目の基礎情報①					
授業形態	実習	科目名	インターンシップⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	1 年	学科	ホテルエアトラベル科	2	60
使用教材	なし		出版社		
科目の基礎情報②					
授業のねらい	ブライダルスタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける				
到達目標	社会人として必要な基礎スキルが身に付いている 相手の立場に立った物の考え方ができる 社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる				
評価基準	企業側評価 75 点（評価表にて採点）、学校評価 25 点（レポート）				
認定条件	出席が総時間数の 3 分の 2 以上ある者 成績評価が 2 以上の者				
関連資格	なし				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する				
担当教員	玉井 利基 他 1 名		実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります